

# 南相馬市

# 環境回復への挑戦 ~その軌跡~

南相馬市は、東日本大震災、さらには原発事故による放射能汚染と大きな困難に見舞われました。事故前の美しい南相馬市、実り豊かな南相馬市を取り戻すために、放射能汚染からの環境回復に努めてきました。その軌跡と今の南相馬市の現状です。



避難指示が解除されて初めて開催された小高区の小学校4校合同大運動会の様子(平成29年5月20日)

## 南相馬市の紹介

南相馬市は、平成18年1月1日、旧原町市、旧小高町、旧鹿島町の1市2町が合併して誕生しました。南相馬市の位置は、福島県浜通りの北部で太平洋に面し、面積は398.58km<sup>2</sup>です。東京からの距離は292kmで、いわき市と仙台市のほぼ中間にあります。



## 現住人口と世帯数

令和3年8月1日現在

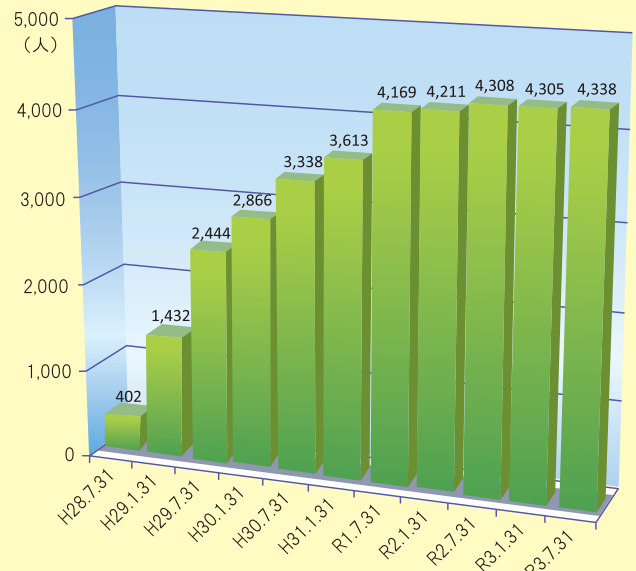
総数	男	女	世帯数
58,331人	30,702人	27,629人	26,413世帯
(70,516人)	(34,330人)	(36,186人)	(23,726世帯)

※( )内は平成23年3月31日の数値。

## 避難指示解除

避難指示が出されていた南相馬市の一部が平成28年7月12日に解除され、住民の帰還も進んでいます。

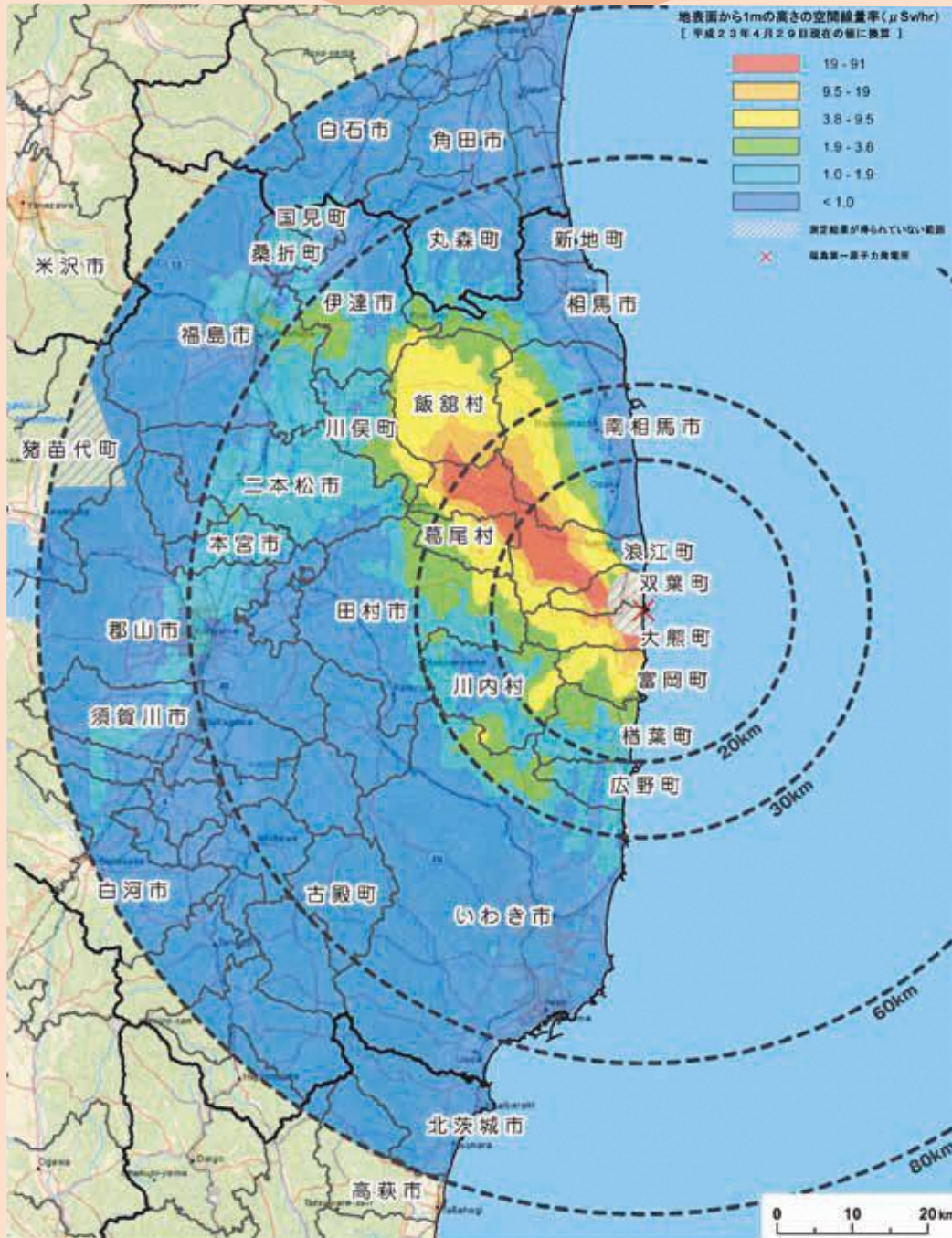
## 避難指示解除後の住民帰還状況



# 原発事故による放射能汚染状況

原発事故により放出された放射性物質で広範囲に汚染されました。

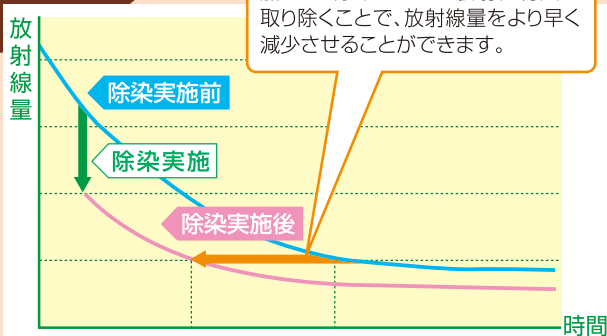
事故後の80km圏内の空間線量率



出典 原子力規制庁HPより

## 除染の目的

放射線量は自然減衰により平成23年8月時点と比較して2年後に約4割、5年後に約6割減少します。それに加えて、除染によって放射性物質を取り除くことで、放射線量をより早く減少させることができます。



## 除染の実施状況

市及び国は、右図において、計画に基づく除染を平成29年3月までに一通り実施しました。

国が除染を実施



# 空間線量率

下図は、空間線量率を色別に地図上に示したものです。濃い青色が増え、空間線量率が下がってきている様子

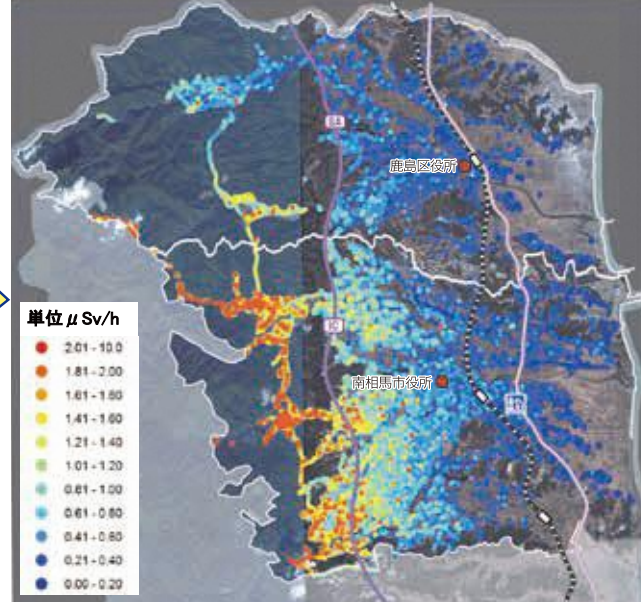
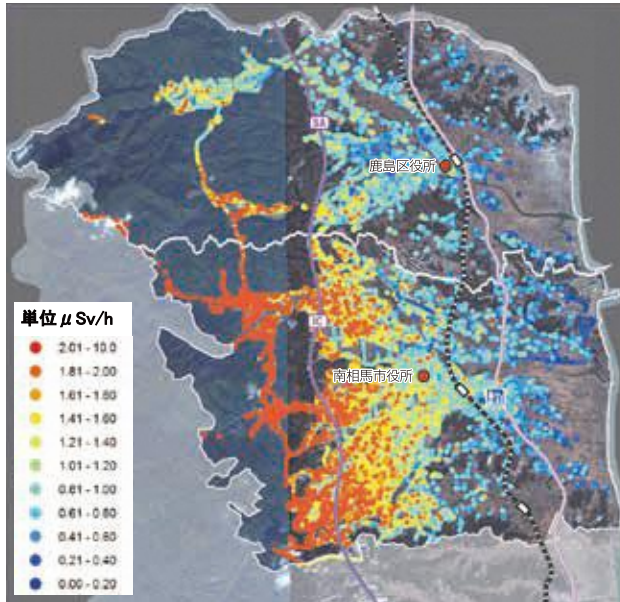
## 原発事故直後

平成23年(推定値)

## 除染前

平成24年～平成27年

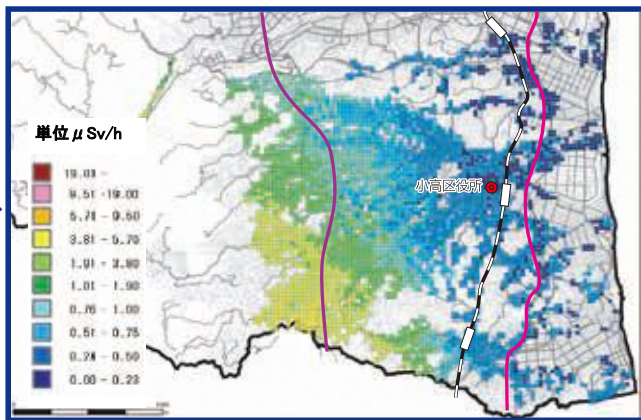
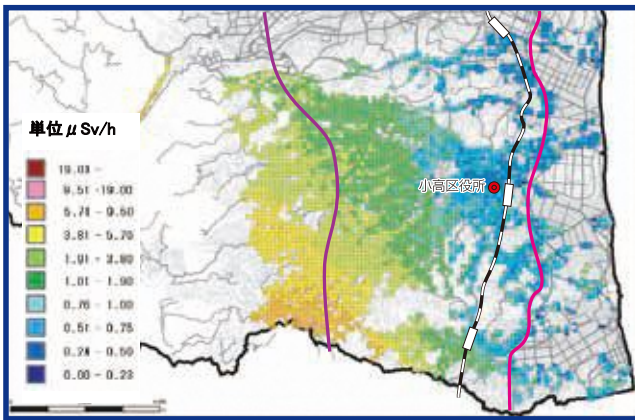
鹿島区・原町区(原発から20km圏外)



小高区・原町区二部(原発から20km圏内)

平成23年(推定値)

平成25年～平成28年



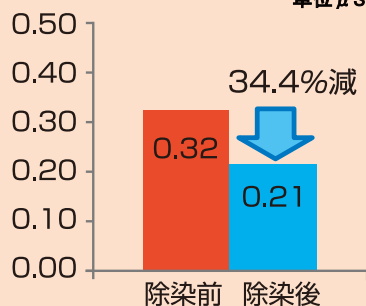
※原発事故直後のマップは、除染前の数値を基にした推定値を表しています。

## 除染の効果

グラフは市が除染を行った箇所の各測点の空間線量率データの平均値です。

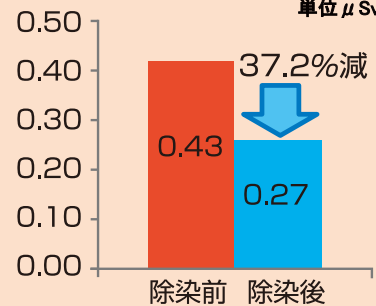
### 宅地

単位  $\mu\text{Sv/h}$



### 農地

単位  $\mu\text{Sv/h}$

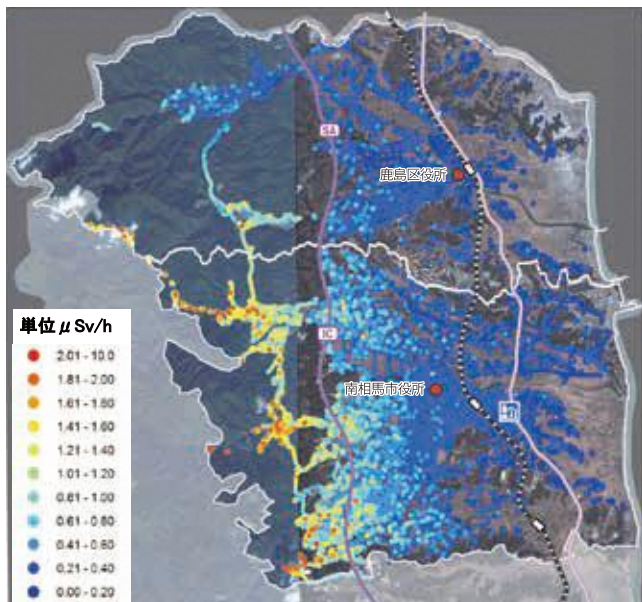


# の 推 移

から、放射能汚染からの環境回復が進んでいます。

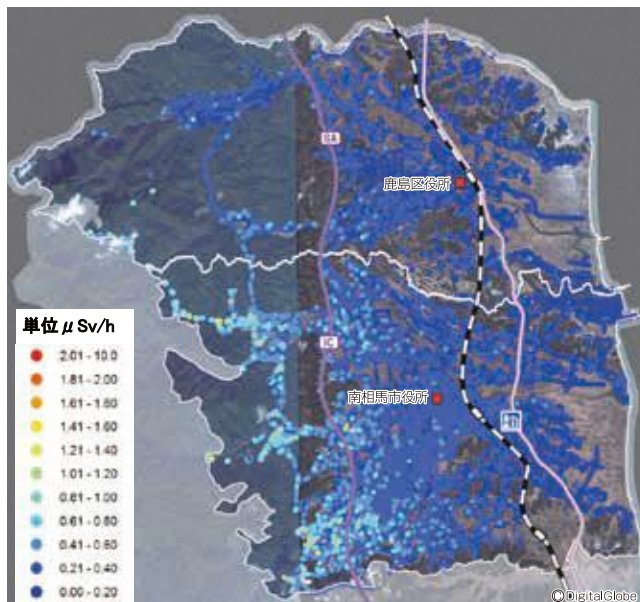
## 除 染 後

平成24年～平成28年



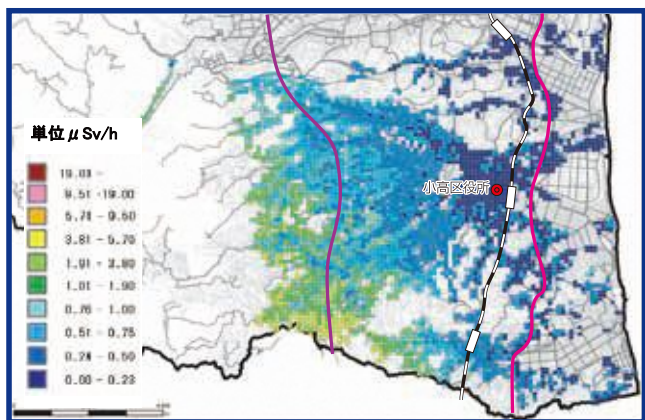
## 事後モニタリング

平成29年

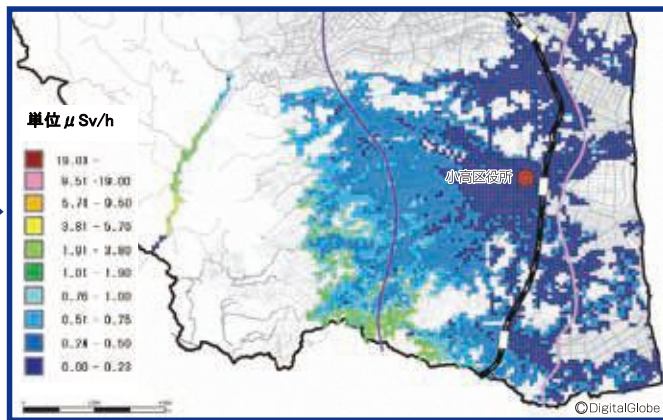


※上の一連の4図は市が行った生活圏除染の内、宅地及び道路についての空間線量率を地図上に示したものです。

平成25年～平成28年



平成29年

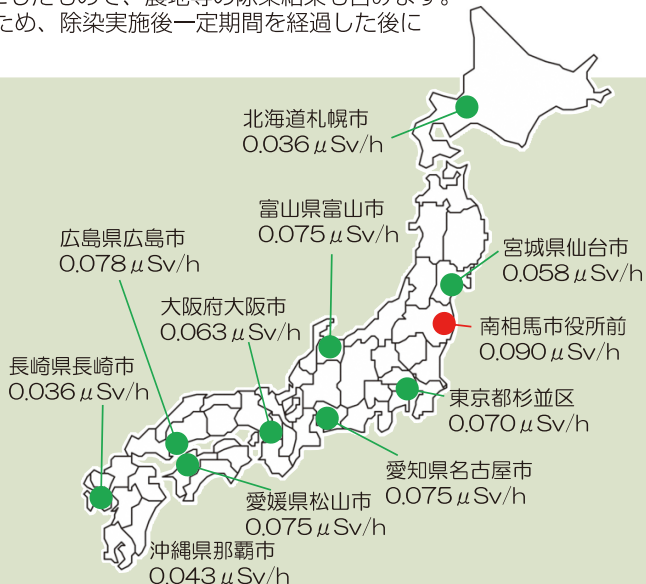


※上の一連の4図は国が行った除染の結果を線量メッシュマップにしたもので、農地等の除染結果も含まれます。  
 ※事後モニタリングは、除染の効果が保たれているかを確認するため、除染実施後一定期間を経過した後に実施します。

## 空間線量率の比較（令和3年8月）

南相馬市と日本各地の市区町村の空間線量率を比較した結果、大きな差がないことを確認できました。

令和3年8月  
 地上1m地点測定または1m高さの推計値  
 出典：原子力規制委員会 放射線モニタリング情報  
 市区町村ホームページ



# 宅地・農地の除染

市で実施した除染作業の一例を紹介します。

## 宅地

雨樋の清掃・洗浄



屋根の高圧洗浄



庭の舗装面・側溝の高圧洗浄



庭の土・砂利の表層はぎ取り・埋め戻し



## 農地

表土の削り取り・客土



深耕または反転耕



農業用水路  
堆積物除去



## 除染で発生した除去物のゆくえ



搬入

○除染で発生した除去土壌等は、南相馬市内の仮置場に保管しています。  
平成27年度より、南相馬市の仮置場から中間貯蔵施設へ除去土壌等の搬出を進めております。

## 仮置場



保管

搬出



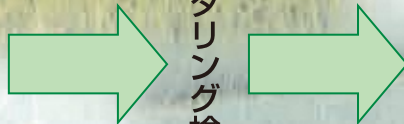
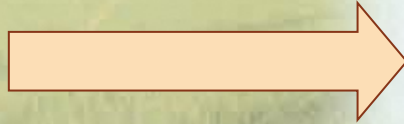
中間貯蔵施設へ

# 南相馬市の食の安全について

**お米**は、産地において生産者ごとに全量・全袋をスクリーニング検査し、安全を確認しています。

**野菜や果物**は、福島県によるモニタリング検査の結果、出荷可能となった地域・品目であっても、産地でさらにスクリーニング検査を行い、安全性を確認しています。

## 生産物



モニタリング検査

## スクリーニング検査

産地で全量全袋検査



産地でさらに検査



農産物において、お米は、令和2年度全量全袋検査で基準値を超えたものはゼロでした。(検査数53,415袋)

また、野菜や果物は、豊富な品揃えで店頭と並ぶようになりました。

こんなことも  
やっています!



平成28年度に、南相馬産酒米「夢の香」を原料とした地酒「御本陣」を開発しました。

発行 初版 平成29年10月  
第2版 令和3年9月  
発行者 南相馬市市民生活部環境回復推進課  
〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地  
TEL (0244)24-5257 FAX (0244)24-5347  
E-Mail kankyokaifuku@city.minamisoma.lg.jp



紙へリサイクル可

この印刷物は、古紙/リルブ配合率70%程度の再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。